



地域に伝わる華麗な舞を惜しみなく披露！ 西条獅子舞フェスティバル 防災パワーが今、ひとつになる。

地域づくりや自主防災などの主体となるコミュニティの活性化を図る上で、地域芸能の伝承活動は、非常に有効な手段です。市ではこうした地域芸能の活動を「市民力」「防災力」へつなげるため、第2回目となる「西条獅子舞フェスティバル」を11月4日に西条運動公園で開催しました。

今回は市内の獅子舞12団体と、ゲストとして、三芳祝い太鼓、夢華神楽社中、市外から獅子舞2団体に参加いただきました。

会場には、子どもからお年寄りまで1600人を超える観衆が詰め掛け、軽快な太鼓のリズムに乗って舞う獅子の姿に見入っていました。



▲防災士の有資格者を対象に開催された「防災士フォローアップ研修」。受講者はひうち会館で講義を受けた後、西条運動公園でロープワークや搬送訓練など災害救助技術を学びました。

▼10月26日から3日間、総合文化会館で開催された「防災士養成講座」。防災の専門家「防災士」になるため、自治会や自主防災組織、消防団などの方々が熱心に受講していました。



10/26～28 防災士養成講座 10/28 防災士フォローアップ研修

「防災士」とは「自助」「共助」を原則として、地域や職場で減災や防災力向上のための活動をするために、十分な意識・知識・技能を有する者として認められた人のことです。

市では防災士を養成する講座を昨年から実施しており、今年は140名が受講しました。また、防災士の資格を取得している方に対しては、継続して専門的な防災知識を高め、より一層地域での防災活動を推進するため、フォローアップ研修を行いました。

どちらの参加者も意欲的に講習や演習に参加し、地域防災のあり方について真剣に考えていました。